

# 地域ダイバーシティin横浜(平成24年度)

平成23年度より、企業間でのネットワークづくりを目的に、(株)損害保険ジャパンと協働で、横浜市内にある企業等による「地域ダイバーシティin横浜」を実施しています。  
2年目となる平成24年度は、各参加企業が幹事を持ちまわりで担い、4回開催いたしました。

## 1. 平成24年度参加団体 (計13団体)

|                |              |                   |
|----------------|--------------|-------------------|
| 株式会社アイデム       | 日総ブレイン株式会社   | 株式会社横浜銀行          |
| 税理士法人アイ・パートナーズ | 株式会社日本政策金融公庫 | (公財)横浜市男女共同参画推進協会 |
| 株式会社神奈川新聞社     | 株式会社ホンダカーズ横浜 | 株式会社損害保険ジャパン      |
| 株式会社JTB        | 株式会社有隣堂      | 横浜市               |
| 第一生命保険株式会社     |              |                   |

## 2. 開催内容(第1回は、平成23年度開催)

### 第2回

日時:平成24年5月15日実施 (参加者:50名) ※幹事団体:(株)損害保険ジャパン  
場所:損保ジャパン横浜ビル

内容:①損保ジャパンの女性活躍推進について  
②グループディスカッション  
・これからどんな形で働いていきたいですか?  
・これからも働くために必要なことは何ですか?  
・私のリフレッシュ方法

- ★(株)損害保険ジャパンの「ダイバーシティの推進」についての制度紹介。また、制度を活用し仕事と家庭を両立している、参加者と同世代の社員の方に経験談をお話いただきました。
- ★「これからどんな形で働きたいか」というテーマでは、「新しい場所を経験することで視野を広げたい」、「独立したい」、「昇進したい」などの積極的な意見の一方で、「身近にロールモデルがない」、「今のままでいい」、「将来のことを考えると不安」という声もありました。

### 第3回

日時:平成24年7月27日実施 (参加者:51名) ※幹事団体:横浜市  
場所:横浜市研修センター

内容:①横浜市女性ポテンシャル発揮プログラム  
②働く女性応援プログラム  
③グループディスカッション  
・働き続けるために、自社でどのような環境・制度があるとよいか?  
・行政で行ってほしい取り組み  
・今後、地域ダイバーシティin横浜でやってみたいこと



- ★横浜市が実施する女性活躍推進に関する庁内外の施策を紹介。
- ★働く環境では、社内に制度があっても認知度が低く、使いにくい環境であったり、うまく機能していないという意見が多くあり、他社の制度でうまく運用ができている事例を紹介してほしいという声がありました。

## 第4回

日時:平成24年11月2日実施 (参加者:51名) ※幹事団体:第一生命保険(株)  
場所:横浜みなと第一生命ビル

内容:①第一生命のダイバーシティの取組  
②グループディスカッション

- ・プラスαとして、担当業務のほかに取り組んでいることは何ですか？
- ・会社で本来業務のほかに取り組んでいることはありますか。

★第一生命保険(株)の「ダイバーシティの推進」についての制度紹介。

★平成25年度に向けて、参加者へアンケートを実施しました。

ロールモデルの講演会や、交流会、仕事の効率化の工夫・企業独自の取組等のグループ研究などの提案がありました。

## 第5回

日時:平成25年2月22日実施 (参加者:43名) ※幹事団体:(株)損害保険ジャパン、横浜市  
場所:横浜市研修センター

内容:①講演会「働く女性へのメッセージ～仕事と子育ての経験から～」  
株式会社テレビ神奈川 営業副本部長 兼 営業局長 東 幾世氏  
②来年度の開催について  
③交流会



★参加者からの要望が多かった身近なロールモデルの講演会を実施。

(株)テレビ神奈川 営業副本部長 東 幾世氏に、子育てと仕事・キャリアの両立、女性が働き続けるためのヒントをご自身の経験からお話いただきました。また、任意での交流会も実施しました。

## 3. 参加者の声

講演いただいた内容を風化させない意味でも、参加者同士で意見交換することは、モチベーションアップにつながり、翌日以降仕事をする上での気づきが生まれると思います。

同じ会社では関わりの少ない方たちと交流ができ、貴重な経験をさせていただいたと思っております。



ディスカッションをする時、他の業種の方の話の聞けることも良いのですが、同じ業種で同じ悩みをもっていることがあるので、同じ業種もしくは近い業種で集まったりすることもおもしろいのではないのでしょうか。



女性の参加がメインなので、男性の参加も増えるいいと思います。



交流会もとても盛り上がりしました。その際も、交流会は今後も開催したい、もっと自社に持って帰れるものが欲しいという話が出ていました。